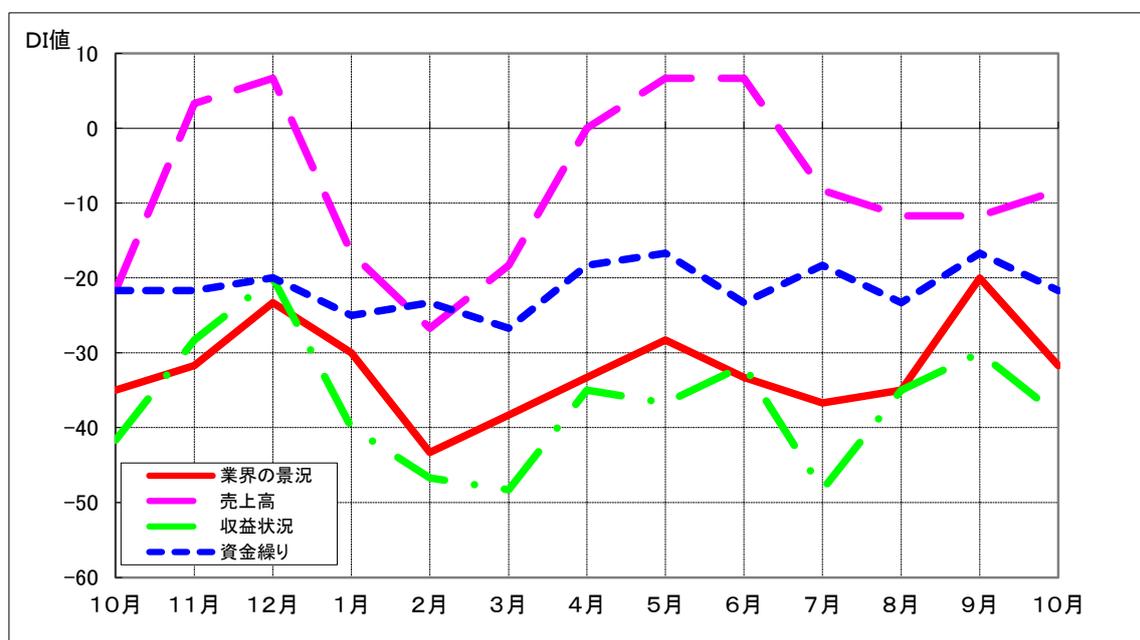


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和3年10月～令和4年10月

単位:ポイント



	R3			R4									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
業界の景況	-35.0	-31.7	-23.3	-30.0	-43.3	-38.3	-33.3	-28.3	-33.3	-36.7	-35.0	-20.0	-31.7
売上高	-21.7	3.3	6.7	-16.7	-26.7	-18.3	0.0	6.7	6.7	-8.3	-11.7	-11.7	-8.3
収益状況	-41.7	-28.3	-20.0	-40.0	-46.7	-48.3	-35.0	-36.7	-31.7	-48.3	-35.0	-30.0	-38.3
資金繰り	-21.7	-21.7	-20.0	-25.0	-23.3	-26.7	-18.3	-16.7	-23.3	-18.3	-23.3	-16.7	-21.7

10月のDI値は、前月と比べ1項目改善、3項目悪化であった。「売上高」DI値は3.4ポイント改善、「業界の景況」DI値は11.7ポイント、「収益状況」DI値は8.3ポイント、「資金繰り」DI値は5.0ポイントそれぞれ悪化した。前年同月比においては3項目改善、1項目不変であった。「売上高」DI値は13.4ポイント、「収益状況」DI値は3.4ポイント、「業界の景況」DI値は3.3ポイント、それぞれ改善し、「資金繰り」DI値は不変となった。

「売上高DI値」について6月から連続して減少が続いていたが、今月はマイナス8.3ポイントと前月比で微増となった。

連絡員からは、業種を問わず原材料・資材及び電気料等の値上げによる影響が報告されている。製造業では原材料等の継続的な値上げにより依然として収益状況は厳しく、売上に回復が見られる企業も思うように利益が上がっていない。業種によっては再値上げに向けての活動を始める動きが見られる。一方で、値上げによる顧客離れを不安視する意見や、新規住宅購入費用の増加により顧客が購入を足踏みするなどの影響が出ている。

非製造業では、回復に地域差はあるものの、全国旅行支援やGoToEatキャンペーンによる人出の増加や一部の商店街でイベントが開催されるなど賑わいを見せた。一方で、建設業やサービス業などでは仕事の増加により人手不足が発生するなど、対応に苦慮している。